

第5号様式

## 事業中間報告書

事業名	おぐにコミュニティまつり事業
事業の内容	<p><b>【目的】</b> おぐにコミュニティ協議会が設立され、平成30年度で5年が経過した。併せて、地域コミュニティのさらなる活性化を目的に、地域の皆さまから検討いただいた「おぐにコミセン屋外敷地活用法」として、周辺敷地整備工事が完了した。 これを機に、開設5周年の感謝と周辺敷地整備完了のお披露目をあわせたイベント「おぐにコミュニティまつり」を開催し、地域コミュニティのさらなる活性化を推進する。</p> <p><b>【内容】</b> 開催日：6月1日（土曜日）午前10時～午後3時 来場者数：約800人 コミセン多目的広場で、馬や牛、アルパカなどの動物を出張設営委託し、「ふれあいミニ動物園」を開催した。 乗馬体験などで可愛い動物たちと地域の方々との交流を楽しんでもらった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○乗馬体験・・・日本海乗馬クラブに委託</li> <li>○山古志の闘牛及びミニチュアホース・・・山古志闘牛会に委託</li> <li>○アルパカ・・・(株)山古志アルパカ村に委託</li> <li>○ヤギ・・・法坂 たかちゃん牧場に委託</li> <li>○ウサギ・・・下村 山崎忠吉さんに委託 など</li> </ul> <p>MCとして、“新潟お笑い集団NAMARA”の高橋なんぐさんを招いて、コミセン多目的広場で来場者にトークとゲームなどで楽しんでもらった。 おぐにコミュニティ協議会主催の「おぐにコミセンまつり」と同時開催した。</p>
事業の実施による効果	<p>「おぐにコミュニティまつり」に来場していただくことで、地域内のより多くの方に「おぐにコミセン」を知っていただき、生涯学習活動やコミュニティ構築の場として気軽にコミセンを利用していただくようPRできた。 施設の利便性が向上したことを内外にアピールして更なる利用促進につなげることができ、世代間交流や、住民の繋がりが推進できた。 また、動物に触れあうことで「命」や「ぬくもり」を体感してもらい、命の尊さを再認識してもらうことができた。</p>
今後の実施スケジュール	
備考	<p>「おぐにコミュニティまつり」を開催することにより、若い世代（特に親子連れ）に、おぐにコミセンを知ってもらう良い機会を与えることができたが、今後は新しく整備した屋外の多目的広場を含めて、いかに地域の皆さんが自らコミセンに気軽に足を運ぶような仕掛けができるかが課題である。</p>

## 事業中間報告書

事業名	男の運動サークル「おぐにメンズクラブ」立ち上げ事業
事業の内容	<p>【目的】</p> <p>65歳以上の男性がいつまでも元気に過ごすことができるよう、心身の機能維持及び要介護状態の予防を目指すもの。現在男性のための介護予防サークルはなく、自主サークル化を目指し、立ち上げを行うもの。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動指導員による健康づくり・介護予防を目的とした運動の実施。 月4回（第1週水曜日、第2週月曜日、第3・4週木曜日）実施。（コミセンと共催）</li> <li>・週ごとに指導者を変え、3種類の運動を実施する。 第1週：松岡綾子さん（運動指導員） 第2週：渡辺美香さん（運動指導員） 第3週：川上美彦さん（運動指導員） 第4週：小林奈津子さん（運動指導員）</li> </ul> <p>4月：おぐにコミュニティセンター福祉健康部会第1回会議で説明チラシの作成、参加者の勧誘、参加者の取りまとめ 6月：第1週11名、第2週9名、第3週11名、第4週9名 7月：第1週11名、第2週10名、第3週10名、第4週12名 8月：第1週10名、第2週10名、第3週9名、第4週11名</p>
事業の実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業を実施していくことで、介護予防事業に無関心である人が減り、介護予防サークルの男性参加者の割合が増えることで、男性高齢者の心身の機能維持・向上につながる。</li> <li>・介護保険申請者が減り、介護予防を目的として、男性高齢者が健康づくり・介護予防に興味・関心を持つことができる。</li> <li>・地域内に男性のための介護予防サークルが立ち上がり、継続して健康づくり・介護予防事業に参加することができる。</li> </ul>
今後の実施スケジュール	<p>9月～R2年3月 月4回、運動サークルの実施。（開催週ごとに講師を変え、月4回で3種類の運動が実施できるようにする。） （第1週水曜日、第2週月曜日、第3・4週木曜日）</p> <p>R1年12月 半年間を振り返り、R2年度のサークル化について検討する。</p>
備考	

# ～おぐにメンズクラブ開催のお知らせ～

男性がいつまでも元気に過ごすことができるように、  
心と身体の健康づくりのために立ち上げました。

現在、男性のためのサークルがないため、男性同士の交流の機会にしたいと  
考えています。ぜひ、メンズクラブにお越しください！！＼(^o^)/



## 1.日時

	第1水曜日	第2月曜日	第3木曜日	第4木曜日
指導者	松岡綾子さん	渡辺美香さん	川上美彦さん	小林奈津子さん
内容	ヨガ	健康体操	健康体操	フレイル
時間	午後1時30分 ～2時30分	午後2時～3時	午後1時30分 ～2時30分	午後1時30分 ～2時30分
6月	5日	10日	20日	27日
7月	3日	8日	18日	25日
8月	7日	19日(第3月曜)	1日	22日
9月	4日	9日	19日	26日
10月	2日	21日(第3月曜)	17日	24日
11月	6日	11日	21日	28日
12月	4日	9日	19日	26日
1月	8日(第2水曜)	20日(第3月曜)	16日	23日
2月	5日	10日	20日	27日
3月	4日	9日	19日	26日

コミセン  
"オトコの  
ヨガ教室"

## 2.会場

おぐにコミュニティーセンター2階健康づくりルーム

## 3.持ち物

飲み物、タオル、内履き

動きやすい服装でお越しください

主催：小国支所市民生活課

95-5900

共催：おぐにコミュニティーセンター

95-3575



## 事業中間報告書

事業名	まだある！おぐにのいいところ事業
事業の内容	<p>【目的】 越後カントリートレイル2018（以下ECT）は外国人ランナーも含め、936名の選手が初夏の小国を駆け抜けた。（参加申込者951名） アジアトレイルマスターズカップとして、また、地域一体型の人気レースとして小国地域での定着を図ることを目的とする。</p> <p>【内容】 29年度に、従来のコースから外れているため要望のあった上地区の12集落を集めコース拡大会議を行い、30年度に現地踏査を実施した。 レース関係者からは、53 kmコースと15 kmコースの距離差が大きいことから、20 kmを超える中間距離コースが欲しいとの要望のあることから、コースバリエーションの構築に向け上地区へのコース延伸に着手したいものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月10日（水）…法末集落役員へ事業内容の説明（あたご荘）</li> <li>・ 7月25日（木）…現地草刈り・法線の確認とマーカー付け</li> </ul>
事業の実施による効果	参加集落の拡大により、より多くの地域での ETC おもてなしの意識醸成と、更なるレースの魅力拡大が図られる。
今後の実施スケジュール	9月～11月……伐採等コース整備
備考	

## 事業中間報告書

事業名	小国まるごと みいつけた！事業
事業の内容	<p><b>【目的】</b>  例年お盆期間に開催している「おぐにかかしまつり」は、県内外からの帰省者や報道に誘発された県内からの高齢者や家族連れが多く訪れ、近年では3,000人を超える来場となっている。</p> <p>平成31年度で10周年を迎える「おぐにかかしまつり」の記念拡大事業として、かかしまつりをメインとした小国地域を巡るツアーや写真コンテストを実施し、小国地域の魅力を発信する機会とする。</p> <p>また、四季を通じて小国地域へ訪れてもらう機会を創出することで地域内外の交流人口を増やし、地域の活性化を目的とする。</p> <p><b>【内容】</b>  かかしまつり開催期間：8月8日（木）～8月19日（月）</p> <p>① 小国巡り  かかしまつりの開催に合わせて、小国を巡るツアーを開催する。  実施日：8月10日（土）10：00～16：00  参加者：24名  コース：せせらぎ公園かかしまつり→千谷沢三十三番（かかし見学）→養楽館（昼食・かかし見学）→真福寺（木喰仁王像）→山口邸（庭園・資料館）→もったいない村</p> <p>② おぐに写真コンテスト  例年開催している写真コンテストに「かかしまつりフォト」部門を設けて開催する。  作品募集：6月中旬～9月末日（写真募集中）  作品審査：10月上旬  表彰・展示：11月3日（祝）おぐに秋まつり会場  （まつり終了後、コミセン・商工物産館等に展示予定）</p>
事業の実施による効果	<p>① おぐにかかしまつりを楽しみにしている来場者が増加しており、まつりに合わせあて小国を巡るツアーを開催することで小国の良さを認識・確認する機会とし、かかしまつりファンのさらなる獲得、小国地域への観光客増が期待できる。</p> <p>② 写真コンテストに「かかしフォト」部門を設けることで、おぐにかかしまつりのイメージの定着と、来場者の増加が見込まれる。さらに写真コンテストは、小国地域のすべてが被写体となり、撮影者の視点や作品としての写真から、小国地域の新たな魅力の掘り起こしが期待できる。</p> <p>③ 地域外から小国地域を訪れえる観光客が喜び、楽しむ様子を目の当たりにすることで小国地域住民が小国地域の魅力を再確認できる機会となり、郷土を愛する心を醸成するとともに、地域を盛り上げたい気運を高め、地域の活性化が期待できる。</p>

<p>今 後 の 実 施 ス ケ ジ ュ ー ル</p>	<p>① おぐに写真コンテスト  9月末日まで 写真募集  10月上旬 写真審査  11月3日 写真コンテスト表彰式  11月3日 写真展示（秋まつり会場）  ～ 秋まつり終了後、小国地域内の各施設で写真展示  （おぐにコミュニティセンター、小国商工物産館等）</p>
<p>備 考</p>	

## 平成31年度 事業の予算執行状況【中間報告】

## 収入の部

(単位:円)

項目	予算額	現在執行額	内 訳
1 負担金	1,700,000	1,700,000	長岡市小国地域ふるさと創生基金事業実行委員会負担金
2 協賛金			
3 その他		1	預金利息
合 計	1,700,000	1,700,001	

## 支出の部

(単位:円)

項目	予算額	現在執行額	内 訳
<b>◎おぐにコミュニティまつり事業</b>			
1 補助金	470,000	468,888	ふれあいミニ動物園開設(馬・闘牛・アルパカ・ヤギ・うさぎ等)及びMC(@100,000円×1名)委託料416,400円、ふれあいミニ動物園のテント(囲い)レンタル料金48,600円、振込手数料3,888円
小 計	470,000	468,888	再補助精算済み
<b>◎男の運動サークル「おぐにメンズクラブ」立ち上げ事業</b>			
1 報償費	210,000		謝礼@6,000円×35回
小 計	210,000	0	
<b>◎まだある!おぐにのいいところ事業</b>			
1 補助金	500,000	500,000	報償費32,000円、消耗品20,000円、重機等機械借り上げ料437,400円、原材料費10,600円
小 計	500,000	500,000	再補助概算払済み
<b>◎小国まるごと みいつけた!事業</b>			
1 補助金	410,000	410,000	写真コンテスト選考謝礼 @10,000×2人、チラシ印刷 80,000円、賞状・賞品・参加賞 120,000円、コピー代・消耗品他 40,000円、郵送料 15,000円、通信費 35,000円、バス借上料 100,000円
小 計	410,000	410,000	再補助概算払済み
<b>◎事務局経費</b>			
1 実行委員謝金	30,000	12,000	実行委員会実行委員謝礼 3,000×5人×2回
2 需用費	75,000		事務用品費、印刷製本費(ふるさとづくり通信 2,300部×@23.6×1.10)計75,000円
3 役務費	5,000	1,512	振込手数料@1,000円×5回
小 計	110,000	13,512	
合 計	1,700,000	1,392,400	

残額 307,601